

2012年（平成24年）の日本の天候

2012年（平成24年）の日本の天候の特徴：

○ **全国的に年平均気温は平年並で、多雨傾向**

北日本から西日本にかけては、寒候期が低温傾向、暖候期が高温傾向と季節のメリハリがはっきりとした年となり、年平均気温は平年並だった。年降水量は全国的に平年を上回った所が多かった。特に沖縄・奄美では、年降水量がかなり多く、年間日照時間がかなり少なかった。

○ **北日本、東日本、西日本は寒冬**

冬型の気圧配置が続いたため、平成23年12月から平成24年2月にかけて3か月連続して月平均気温が低く、冬の平均気温も低かった。日本海側では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となった。

○ **北日本、東日本、西日本は暑夏、西日本と沖縄・奄美は雨の多い夏**

梅雨明け以降太平洋高気圧に覆われることが多く、夏の平均気温は沖縄・奄美を除き高かった。梅雨前線や台風等の影響により、夏の降水量は西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、西日本日本海側も含めてたびたび大雨となった。7月11日から14日には「平成24年7月九州北部豪雨」が発生した。

○ **9月の北日本は記録的高温**

勢力の強い太平洋高気圧が日本の東海上から張り出したため、北日本では平年の盛夏期を上回るような高温が続いた。このため、北日本の9月の平均気温はかなり高くなり、統計を開始した1946年以降最も高い値を大幅に更新した（平年差+3.7℃、これまでの記録は1961年の+1.8℃）。

1 概況

北日本から西日本にかけては、春の前半まで低温傾向、春の後半から秋の前半まで高温傾向、秋の後半から初冬まで低温傾向と季節のメリハリがはっきりとした気温変化となり、沖縄・奄美では、年の前半が高温傾向、年の後半が低温傾向となった。このため、年平均気温は全国的に平年並だった。西日本や沖縄・奄美では夏に降水量が多く、北日本や東日本では春や秋に降水量が多かったことから、年降水量は全国的に平年を上回った所が多かった。沖縄・奄美では一時期を除いて平年より晴れの日が少なく、年間日照時間はかなり少なかった。

冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすかったため、北日本から西日本にかけて冬の月平均気温は3か月連続して低く、寒冬となった。日本海側ではたびたび大雪となり、ここ10年間では2005/06年冬の「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となり、全国のアメダスを含む17地点では、年最深積雪の多い方からの1位を更新した。また、沖縄・奄美では寒気や気圧の谷の影響により曇りの日が多く、冬の日照時間は1946年以降で最も少なかった。

春になると、北日本から西日本にかけては概ね天気は数日の周期で変わったが、たびたび偏西風の蛇行が大きくなり上空に寒気が流れ込んだ。3月後半は冬型の気圧配置になる日が多く

北日本を中心に気温が平年を下回った。4月上旬には急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により各地で大荒れの天気となって広い範囲で記録的な暴風が観測されたほか、5月上旬には動きの遅い低気圧の影響で北・東日本太平洋側で記録的な大雨となった。また、東日本を中心にたびたび大気の状態が不安定となり、5月6日には関東地方などで竜巻が発生し、大きな被害をもたらした。沖縄・奄美では、5月中旬になると暖かく湿った気流や前線の影響により曇りや雨の日が多くなり、梅雨入りとなった。

6月後半から7月前半にかけて梅雨前線が西日本付近に停滞したことや台風および太平洋高気圧の縁を回って南から暖かく湿った空気が流入した影響で、西日本と沖縄・奄美では多雨・寡照の夏となった。台風の接近数が多かった沖縄・奄美では、夏の降水量が1946年以降最も多い値を更新した。梅雨前線の活動は活発で、7月11日から14日にかけて九州北部地方で記録的な大雨となり甚大な災害が発生した（「平成24年7月九州北部豪雨」）ほか、西日本ではたびたび大雨に見舞われた。7月後半以降は、太平洋高気圧が日本の東海上で強く本州付近に張り出したため、北日本から西日本にかけては晴れて暑い日が多くなり、夏の気温は高くなった。一方、6月から7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、一時的に気温が平年を大幅に下回った日もあった。

9月は、日本の東海上から勢力の強い太平洋高気圧が北・東日本に張り出したため、北・東日本を中心に気温の高い状態が続いた。北日本では9月の月平均気温が1946年以降のこれまでの記録を大幅に上回る記録的な高温となった（平年差+3.7℃、これまでの記録は1961年の+1.8℃）。また、北・東日本の一部では7月下旬からの少雨の状態が続いた。10月後半以降、北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨または雪の日が多く、東日本以西では10日程度の周期で寒気が流れ込んで気温の低い時期が現れた。沖縄・奄美では秋を通じて気温が低い状態が続いた。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に平年並だった。

(2) 降水量

年降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側、西日本で多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側、西日本で少なかった。名護（沖縄県）では、年間日照時間の少ない方からの一位を更新した。一方、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、東日本太平洋側で多かった。

地域平均平年差（比）と階級（2012年）

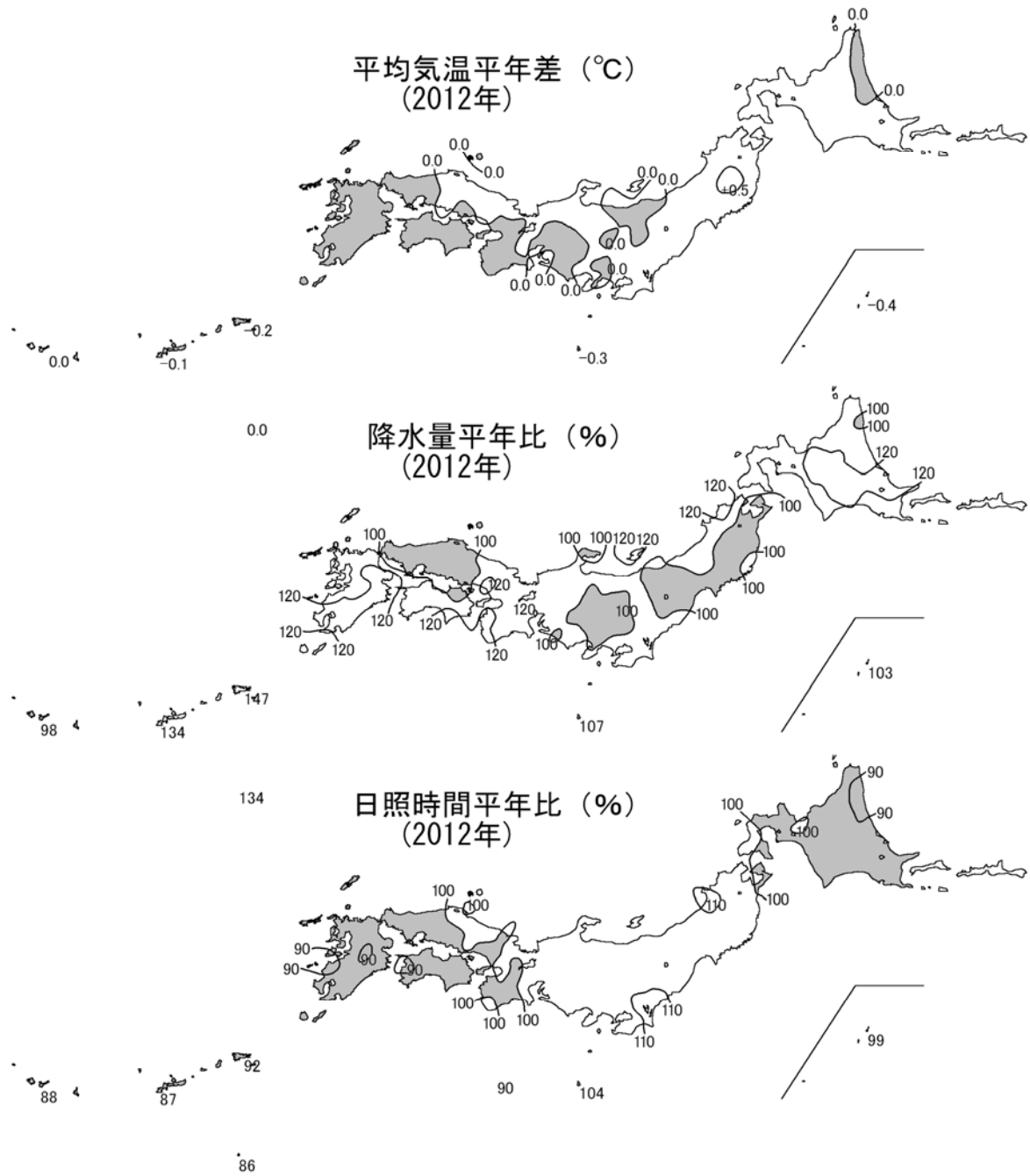
	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)				
北日本	0.2 (○)	107 (+)	99 (○)	北海道	0.2 (○)	114 (+)	95 (-)				
		日 109 (+)	日 101 (+)			才 114 (+)	才 99 (○)				
		太 105 (○)	太 98 (-)			太 113 (+)	太 94 (-)*				
東日本	0.0 (○)	104 (○)	106 (+)	東北	0.2 (○)	98 (○)	104 (+)				
		日 107 (+)	日 108 (+)*			日 103 (○)	日 107 (+)				
		太 104 (○)	太 105 (+)			太 94 (○)	太 103 (+)				
西日本	-0.1 (○)	111 (+)	96 (-)	関東甲信	0.1 (○)	101 (○)	106 (+)				
		日 107 (+)	日 96 (-)	北陸	0.0 (○)	107 (+)	108 (+)*				
太 114 (+)	太 96 (-)	東海	0.0 (○)					107 (○)	103 (+)		
沖縄・奄美	-0.1 (○)	124 (+)*	90 (-)*	近畿	-0.1 (○)	116 (+)	100 (○)				
				日 113 (+)*	日 101 (○)						
				太 117 (+)	太 99 (-)	中国	0.0 (○)	94 (○)	99 (○)		
				陰 93 (○)	陰 100 (○)						
				陽 95 (-)	陽 97 (-)	四国	-0.2 (○)	112 (+)	94 (-)		
				九州北部	-0.2 (○)	111 (+)	93 (-)*	九州南部 ・奄美	-0.3 (-)	129 (+)*	92 (-)*
				本-0.3 (-)	本 123 (+)*	本 93 (-)					
				奄-0.2 (-)	奄 158 (+)*	奄 90 (-)*	沖縄	0.0 (○)	111 (+)	89 (-)*	

階級表示 - :低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 *はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す 才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

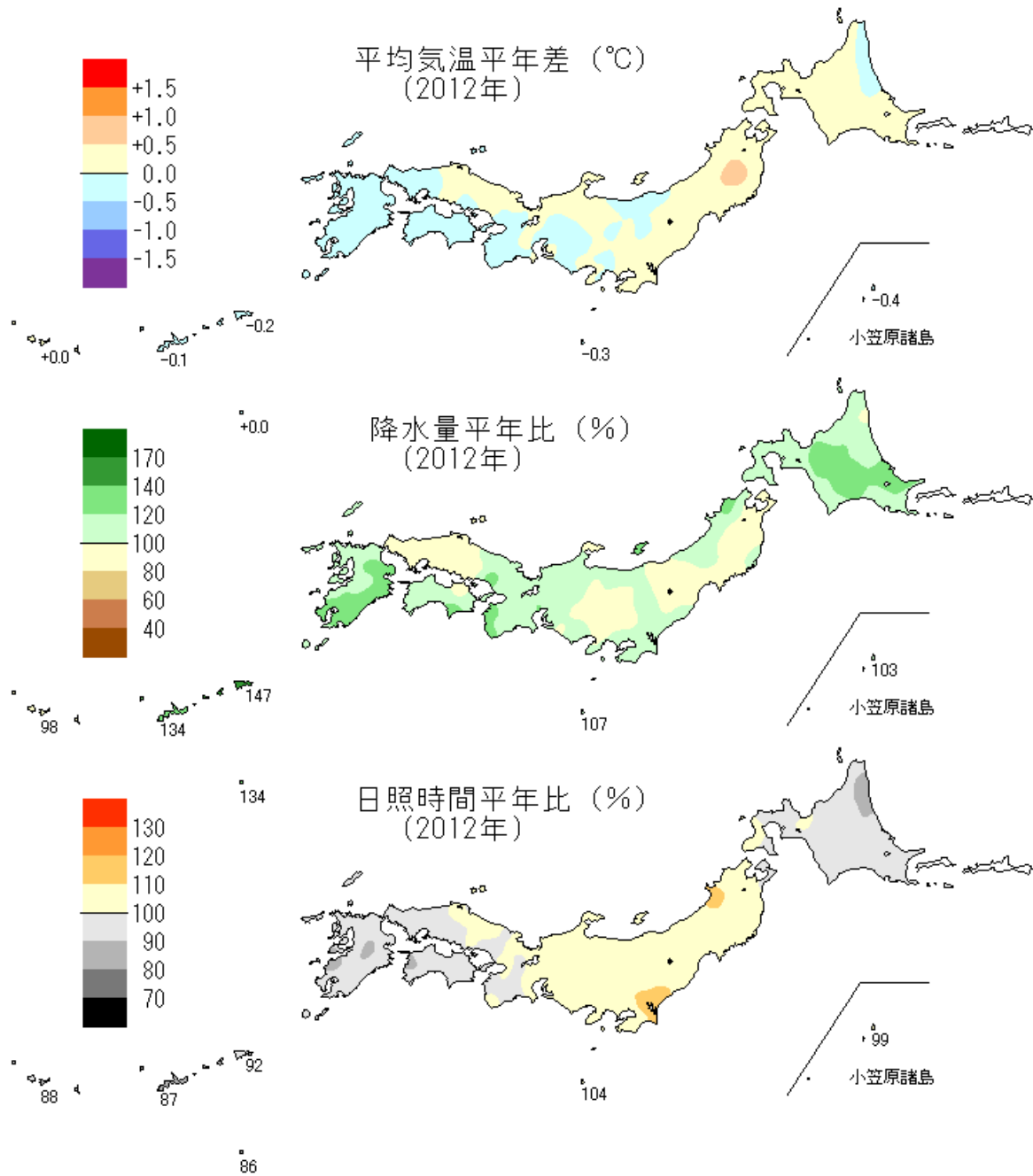
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は 154 地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている 106 地点が対象である。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

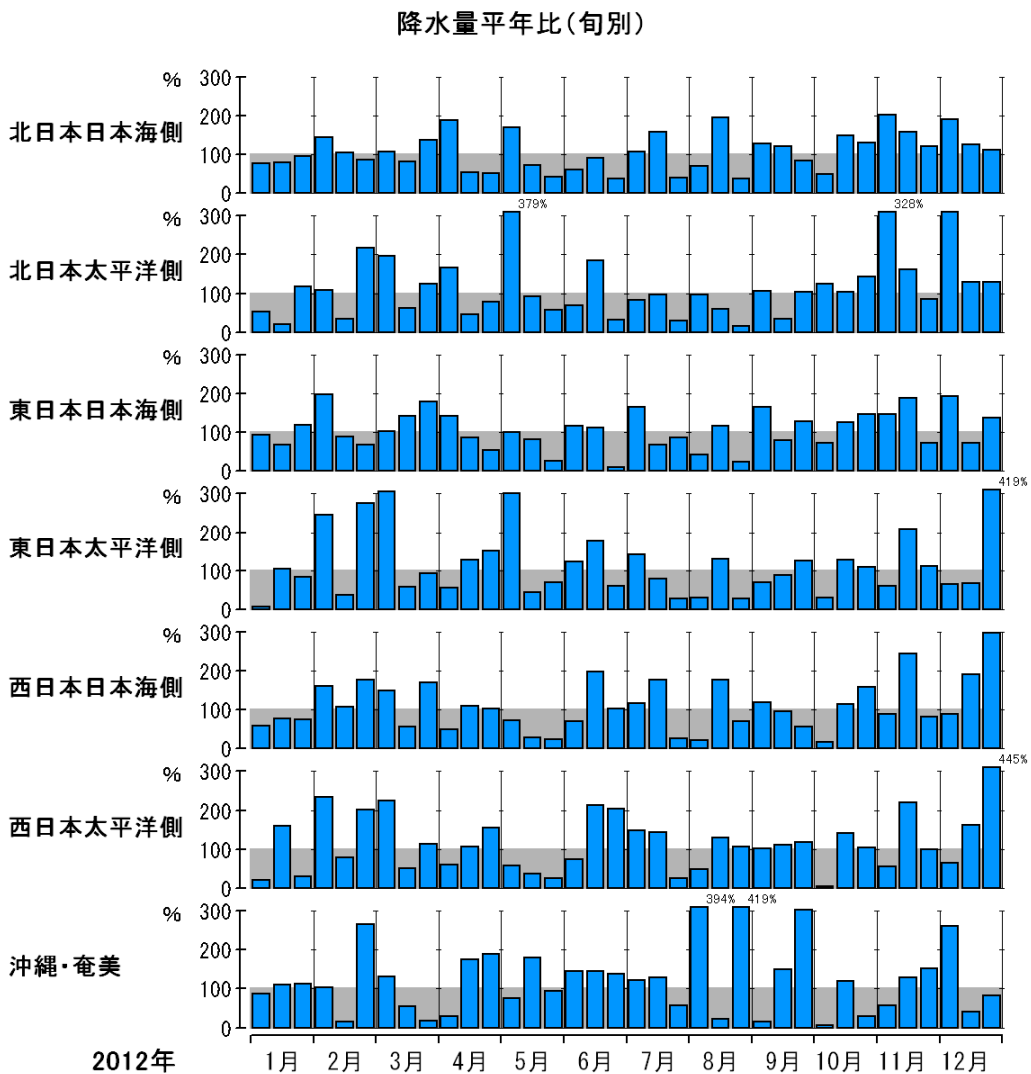
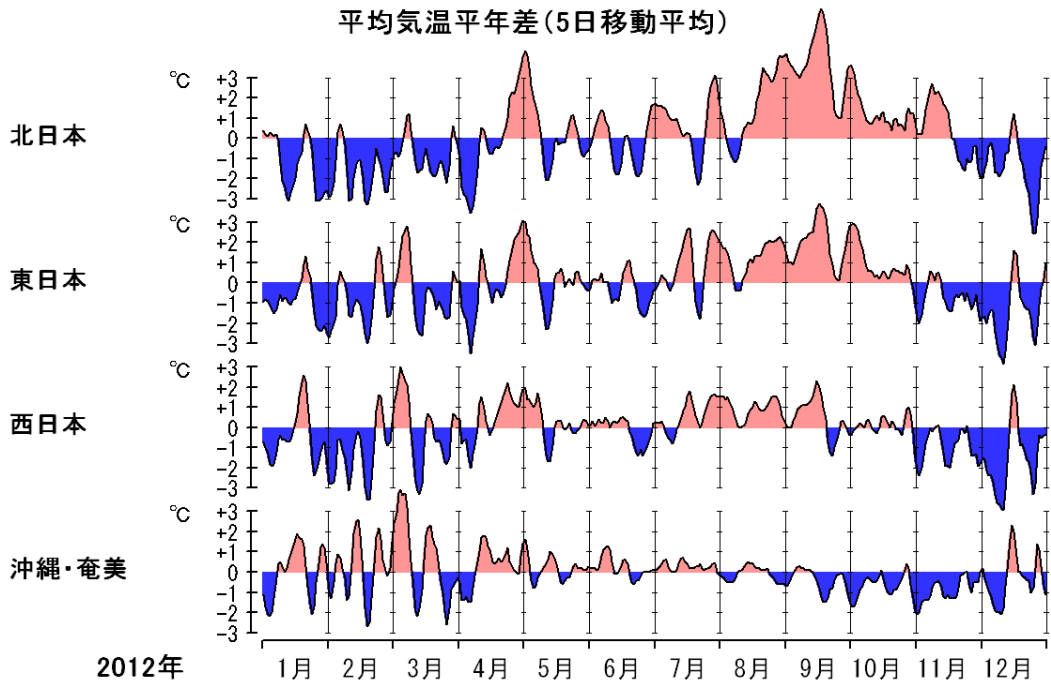
平年差（比）図（2012年）（等値線図）



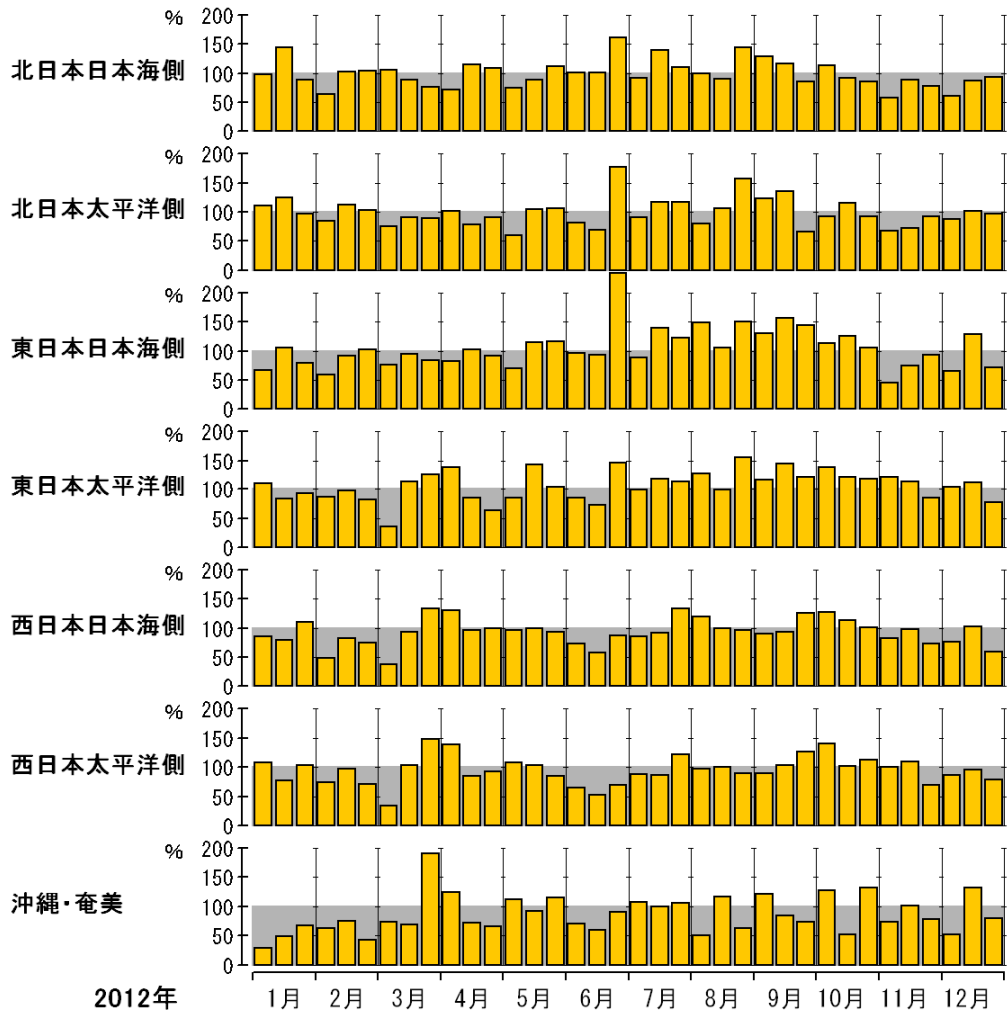
平年差（比）図（2012年）



地域平均平年差（比）の経過（2012年）



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・全国154地点の気象台などの統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	1	1	1	3	0	1
2月	0	0	0	0	0	1	1タイ	2、1タイ
冬	0	0	1	0	2	7 沖縄・奄美	1	
3月	0	0	5 北～西日本	0	0	2、1タイ	0	0
4月	0	0	0	0	0	0	8 北日本	0
5月	0	0	3	5 西日本	0	0		
春	0	0	3	0	0	0		
6月	0	0	4	1	0	4		
7月	0	0	1	0	0	0		
8月	0	0	3	1	5 北・東日本	1		
夏	0	0	2	0	0	0		
9月	51、2タイ 北～西日本	0	0	0	4	0		
10月	3、1タイ	0	0	0	0	0		
11月	0	0	3、1タイ	0	0	2	0	0
秋	31、1タイ 北・東日本	0	2、1タイ	0	6 東日本	2		
12月	0	0	5 北日本、 西日本	0	0	1	0	1
年 (2012年)	0	0	0	0	0	1		

3 季節別の天候経過

冬（2011年12月～2012年2月）：

○北日本から西日本にかけて、12月、1月、2月と3か月連続低温で、冬の平均気温が低かった

○日本海側では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪

○沖縄・奄美での冬の日照時間は1946年以降最も少なかった

西高東低の冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすかったため、北日本から西日本にかけて気温が平年を下回る日が多く、冬の平均気温は低かった。これらの地域では12月、1月、2月それぞれの月平均気温もすべて低く、冬に3か月間連続で月平均気温が低かったのは、北日本では2001年冬以来11年ぶり、東・西日本では1986年冬以来26年ぶりとなった。

北日本から西日本にかけての日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多く、特に12月下旬と、1月下旬から2月にかけては、強い寒気の影響によりたびたび大雪となった。冬の降雪量は多くの地点で平年を上回った。低温の状態が続き積雪が減少する時期が少なかったことから、冬の最深積雪の平年比は多くの地点で降雪量の平年比に比べて大きくなり、全国のアメダスを含む17地点（気象官署、アメダス合わせて330地点中の数）では年最深積雪の大きい方からの1位を更新するなど、ここ10年間では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となった。また、日本海側の冬の日照時間は、東・西日本ではかなり少なく、北日本で少なかった。北日本から西日本にかけての太平洋側では、冬型の気圧配置により晴れた日が多かったものの、本州の南岸を通る低気圧の影響を受け雲が広がりやすい時期があったため、東・西日本太平洋側では冬の日照時間は少なかった。沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平年に比べ曇りの日が多く、冬の日照時間はかなり少なかった。沖縄・奄美の冬の日照日間は1946年以降で最も少なかった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で低く、沖縄・奄美では平年並だった。降水量は、東・西日本日本海側で多く、北日本と東・西日本太平洋側および沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は、東・西日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側、東・西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側では多かった。

春（3～5月）：

○北日本太平洋側で日照時間がかなり少なかった

○急速に発達した低気圧（4月）と竜巻（5月）により大きな被害

春の前半は、北日本から西日本にかけて天気は数日の周期で変わったが、3月中旬以降たびたび冬型の気圧配置になるなど北日本を中心に寒気の影響を受け、気温が平年を下回る日が多かった。また、急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により、4月3日から5日にかけて北日本から西日本の各地で大荒れの天気となり、広い範囲で記録的な暴風となった。沖縄・奄美では、3月中旬まで前線や寒気の影響により曇りや雨の日が多かったが、3月下旬から4月上旬にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

春の後半は、北日本から西日本にかけて天気は概ね周期的に変化したが、北日本太平洋側を中心に低気圧や日本の東海上の優勢な高気圧からの湿った東風の影響により曇りや雨の日が多く、特に5月2日から4日にかけては動きの遅い低気圧の影響により、北・東日本太平洋側で記録的な大雨となった。一方、西日本では、5月は低気圧や南西からの湿った気流の影響を受けにくく少雨となった。また、東日本を中心にたびたび上空に寒気が入って大気の状態が不安定になり、5月6日には関東地方などで竜巻が発生し、大きな被害をもたらした。沖縄・奄美

では、5月上旬と下旬に高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期もあったが、暖かく湿った気流や前線の影響により4月中旬以降曇りや雨の日が多かった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で平年並、沖縄・奄美で高かった。降水量は、北・東日本太平洋側で多く、北・東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。一方、西日本では少なかった。日照時間は、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本日本海側で少なかった。東日本太平洋側と西日本および沖縄・奄美では平年並だった。

夏(6~8月):

○北日本から西日本では暑夏となり、猛暑日となった所もあった

○西日本は多雨となり、たびたび大雨が発生した

○沖縄・奄美では、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった

太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、夏の気温は北日本から西日本で高く、7月中旬後半、7月下旬中頃から8月上旬中頃、及び8月後半を中心として猛暑日になった所があった。一方、6月から7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、気温が平年を大幅に下回った日もあった。

夏の降水量、日照時間については、6月19日に和歌山県南部に上陸した台風第4号をはじめ、台風、梅雨前線、及び太平洋高気圧の縁を回って南から暖かく湿った空気が流入した影響で、西日本から沖縄・奄美にかけては降水量が多く日照時間が少なかった。沖縄・奄美では台風の接近数が多く、夏の降水量は1946年以降最も多い値を更新した。また、梅雨末期の7月11日から14日にかけて、非常に湿った空気が流れ込んだため九州北部地方で記録的な大雨となり甚大な災害が発生した(「平成24年7月九州北部豪雨」)ほか、8月13日から14日にかけて近畿中部を中心に局地的に猛烈な雨が降るなど、アメダス地点における1時間50ミリ以上の短時間強雨の発生回数は1976年以降最も多かった。一方、高気圧に覆われたため東日本日本海側では日照時間がかなり多く、7月下旬頃から東北、北陸、関東甲信の各地方では少雨となった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で高く、沖縄・奄美では平年並だった。降水量は、西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、北日本太平洋側でかなり少なく、東日本で少なかった。北日本日本海側は平年並だった。日照時間は、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

秋(9~11月):

○北日本では、秋の平均気温の最も高い値を更新

○9月と10月は北・東日本を中心に高温、11月は東日本以西で低温

○東日本太平洋側では、秋の日照時間の最も多い値を更新

○北日本日本海側では、秋の降水量がかなり多かった

9月と10月の月平均気温がかなり高かった北日本では、秋の平均気温は平年差が+1.7℃となり、1946年の統計開始以降最も高い値を更新した。また、札幌(北海道)、秋田、仙台(宮城県)など、北日本を中心に31地点で秋の平均気温の高い方からの一位を更新した。なお、11月は東日本以西で気温が低く、沖縄・奄美では秋を通じて気温が低かった。

9月は、北日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が強く、北・東日本に張り出したため、北・東日本を中心に晴れて気温の高い状態が続いた。北日本では9月の月平均気温が統計を開始し

た1946年以降で最も高くなり、記録的な高温となった。また、北・東日本の一部では7月下旬からの少雨の状態が続いた。一方、西日本と沖縄・奄美では、晴れの日が多かったが、台風の影響や南からの湿った気流の影響を受ける日があった。10月に入っても、北日本では暖かい空気に覆われやすく気温の高い状態が続いた。東・西日本と沖縄・奄美では中旬には台風の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多く、東・西日本太平洋側では10月の月間日照時間はかなり多かった。このため、東日本太平洋側の秋の日照時間は平年比119%と1946年の統計開始以降最も多い値を更新した。11月は、北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨または雪の日が多かった。東日本太平洋側と西日本では高気圧と低気圧が交互に通り天気は周期的に変わり、沖縄・奄美では寒気の影響により曇りの日が多かった。月の後半には全国的に一時的に冬型の気圧配置となった日があった。

平均気温は、北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美ではかなり低かった。西日本では平年並だった。降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側および沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。日照時間は、東日本でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本と沖縄・奄美で少なく、西日本日本海側では平年並だった。

4 全国気候表 2012年

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	9.3	(+0.4)	○	1279.0	(116)	+	148	1819.6	(105)	+
稚内	6.8	(0.0)	○	1159.5	(109)	+	179	1377.4	(93)	-
北見枝幸	5.9	(-0.1)	○	1139.0	(99)	○	146	1322.5	(85)	-*
旭川	7.2	(+0.3)	○	1251.5	(120)	+*	161	1589.3	(100)	○
留萌	8.0	(+0.3)	○	1270.0	(113)	+	152	1523.7	(99)	○
羽幌	8.0	(+0.3)	○	1369.0	(107)	+	173	1547.8	(98)	○
岩見沢	8.0	(+0.4)	○	1570.5	(135)	+*	159	1669.2	(97)	○
倶知安	7.3	(+0.3)	+	1715.5	(116)	+	181	1463.9	(100)	○
小樽	8.7	(+0.1)	○	1252.0	(102)	○	176	1539.9	(95)	-
寿都	8.8	(+0.2)	○	1364.5	(116)	+	155	1395.1	(98)	○
網走	6.8	(+0.3)	○	1069.0	(136)	+*	136	1745.9	(93)	-
紋別	6.3	(-0.1)	○	924.0	(114)	+	124	1573.8	(91)	-
雄武	5.6	(-0.1)	○	937.0	(108)	○	128	1466.0	(88)	-*
釧路	6.7	(+0.5)	○	1196.5	(115)	+	107	1813.7	(92)	-*
根室	6.5	(+0.2)	○	1063.5	(104)	○	122	1665.6	(90)	-*
帯広	7.2	(+0.4)	○	1177.0	(133)	+*	108	1883.8	(93)	-
広尾	7.0	(+0.2)	○	1882.5	(111)	+	134	1690.3	(93)	-*
室蘭	8.8	(+0.2)	○	1315.0	(111)	+	140	1640.6	(95)	-
苫小牧	7.8	(+0.2)	○	1342.5	(112)	+	110	1613.6	(95)	-
浦河	8.3	(+0.4)	○	1186.5	(111)	+	101	1777.3	(97)	○
函館	9.5	(+0.4)	+	1228.5	(107)	+	148	1729.8	(99)	○
江差	10.3	(+0.2)	○	1223.0	(102)	○	152	1494.4	(103)	+
青森	10.5	(+0.1)	○	1295.5	(100)	○	173	1669.1	(104)	+
深浦	10.7	(0.0)	○	1885.5	(129)	+*	157	1559.7	(108)	+
むつ	9.7	(+0.2)	○	1134.0	(85)	-*	152	1514.5	(94)	-
八戸	10.3	(+0.1)	○	897.0	(88)	-	100	1861.7	(100)	○
秋田	12.1	(+0.4)	+	1742.5	(103)	○	173	1684.3	(110)	+*
盛岡	10.8	(+0.6)	+	1029.5	(81)	-	111	1805.5	(107)	+
大船渡	11.3	(0.0)	○	1512.0	(98)	○	114	1748.0	(100)	○
宮古	10.7	(+0.1)	○	1401.0	(105)	○	99	1952.5	(104)	+
仙台	12.6	(+0.2)	○	1179.5	(94)	-	104	1909.0	(106)	+
石巻	11.6	(0.0)	○	954.5	(89)	-	91	1997.4	(103)	+
山形	11.8	(+0.1)	○	991.5	(85)	-	129	1663.8	(103)	+
新庄	11.0	(+0.3)	○	2119.0	(114)	+	202	1408.6	(106)	+
酒田	12.9	(+0.2)	○	1988.5	(105)	○	195	1667.5	(107)	+
福島	13.2	(+0.2)	○	1070.5	(92)	-	109	1751.4	(101)	○
若松	11.8	(+0.1)	○	1044.0	(86)	-	136	1759.9	(109)	+*
白河	11.6	(+0.1)	○	1349.0	(96)	○	111	1860.9	(105)	○
小名浜	13.4	(0.0)	○	1529.5	(109)	+	102	2213.3	(108)	+
水戸	13.9	(+0.3)	○	1485.5	(110)	+	109	2202.3	(115)	+*
館野(つくば)	14.0	(+0.2)	○	1395.5	(109)	+	107	2194.3	(115)	+*
宇都宮	14.0	(+0.2)	○	1668.0	(112)	+	113	2088.5	(109)	+*
日光	6.8	(-0.1)	○	2612.5	(120)	+	134	1764.1	(100)	○

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
前橋	14.7	(+0.1)	○	1074.0	(86)	-	95	2216.3	(105)	+
熊谷	15.1	(+0.1)	○	1079.0	(84)	-	101	2255.4	(110)	+*
秩父	13.1	(0.0)	○	1219.5	(91)	-	94	2038.0	(107)	+
東京	16.3	(0.0)	○	1570.0	(103)	○	109	2022.9	(108)	+
大島	16.2	(+0.1)	○	2849.5	(101)	○	120	1845.2	(102)	○
三宅島	17.6	(-0.1)	○	3009.5	(102)	○	153	1653.7	(97)	○
八丈島	17.5	(-0.3)	-	3413.0	(107)	+	185	1461.1	(104)	+
父島	22.8	(-0.4)	-	1328.5	(103)	○	109	2013.4	(99)	○
千葉	15.9	(+0.2)	○	1614.0	(116)	+	119	2039.3	(107)	+
銚子	15.7	(+0.3)	○	1742.0	(105)	○	121	2187.5	(112)	+*
館山	16.0	(+0.1)	○	1854.0	(104)	○	111	2059.1	(106)	+
勝浦	15.8	(+0.1)	○	2043.0	(104)	○	129	1995.2	(104)	○
横浜	15.8	(0.0)	○	1997.5	(118)	+	110	2125.0	(108)	+*
長野	12.1	(+0.2)	○	955.5	(102)	○	107	2043.6	(105)	+
松本	12.0	(+0.2)	○	987.0	(96)	○	89	2200.2	(105)	+
諏訪	11.1	(0.0)	○	1278.5	(100)	○	108	2217.1	(105)	+
軽井沢	8.1	(-0.1)	○	1127.5	(91)	-	109	1977.0	(102)	○
飯田	12.6	(-0.2)	-	1606.0	(100)	○	107	2138.9	(106)	+
甲府	14.8	(+0.1)	○	1003.5	(88)	-	89	2357.9	(108)	+*
河口湖	10.5	(-0.1)	○	1473.5	(94)	○	100	2056.9	(105)	+
静岡	16.6	(+0.1)	○	2488.5	(107)	+	107	2268.8	(108)	+
浜松	16.2	(-0.1)	○	1797.0	(99)	○	94	2311.7	(105)	+
御前崎	16.3	(-0.1)	○	2309.0	(112)	+	100	2374.2	(106)	+
三島	16.0	(+0.1)	○	1669.5	(89)	-	115	2026.1	(104)	+
石廊崎	16.6	(0.0)	○	1928.0	(108)	+	102	2242.1	(106)	+
網代	15.9	(-0.1)	○	2190.5	(111)	+	108	1851.5	(103)	+
名古屋	15.8	(0.0)	○	1567.5	(102)	○	96	2159.5	(103)	+
伊良湖	16.1	(+0.1)	○	1607.5	(100)	○	96	2244.3	(102)	○
岐阜	15.7	(-0.1)	○	1871.5	(102)	○	102	2131.7	(102)	○
高山	11.0	(0.0)	○	1828.5	(108)	○	145	1639.2	(101)	○
津	15.9	(0.0)	○	1714.0	(108)	+	102	2148.3	(104)	+
上野	14.4	(+0.2)	○	1609.5	(118)	+	109	1777.9	(101)	○
尾鷲	15.9	(-0.2)	-	4117.5	(107)	○	133	1877.9	(96)	-
四日市	14.7	(-0.1)	-	2183.5	(127)	+*	108	1983.9	(101)	○
新潟	13.8	(-0.1)	○	1810.0	(99)	○	165	1742.6	(106)	+
相川	14.0	(+0.1)	○	1872.5	(124)	+*	156	1769.7	(108)	+
高田	13.4	(-0.2)	-	2997.5	(109)	○	191	1682.0	(106)	○
富山	14.2	(+0.1)	○	2322.5	(101)	○	182	1758.2	(109)	+*
伏木	14.0	(+0.1)	○	2234.5	(100)	○	183	1771.7	(110)	+*
金沢	14.8	(+0.2)	○	2675.5	(112)	+	187	1836.1	(109)	+*
輪島	13.6	(+0.1)	○	2053.0	(98)	○	168	1713.3	(109)	+

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	
福井	14.6	(+0.1) ○	2492.5	(111) +	178	1755.2	(108) +	
	敦賀	15.3	(0.0) ○	2389.0	(112) +	180	1680.3	(108) +
彦根	14.8	(+0.1) ○	1737.5	(111) +	135	1874.6	(103) ○	
京都	15.8	(-0.1) ○	1562.0	(105) ○	112	1752.2	(99) ○	
	舞鶴	14.6	(+0.1) ○	2157.0	(118) +*	173	1564.2	(102) ○
大阪	16.6	(-0.3) -	1519.5	(119) +	97	2058.2	(103) ○	
神戸	16.6	(-0.1) ○	1254.5	(103) ○	97	2015.3	(101) ○	
	豊岡	14.3	(0.0) ○	2252.0	(111) +	177	1480.6	(99) ○
姫路	15.3	(+0.1) ○	1505.0	(126) +	97	1972.6	(97) -	
	洲本	15.2	(-0.3) -	1634.5	(116) +	111	2010.4	(97) -
奈良	14.7	(-0.2) -	1597.5	(121) +	109	1755.9	(96) -	
和歌山	16.4	(-0.3) -	1637.0	(124) +	106	2042.0	(98) -	
	潮岬	17.0	(-0.2) -	3053.5	(121) +	133	2226.2	(101) ○
岡山	16.1	(-0.1) ○	1106.0	(100) ○	97	2051.5	(101) ○	
	津山	13.8	(+0.1) ○	1350.0	(95) ○	113	1766.3	(100) ○
広島	16.2	(-0.1) ○	1478.0	(96) ○	85	1962.2	(96) -	
	呉	16.2	(0.0) ○	1341.0	(97) ○	87	1971.1	(96) -
	福山	15.5	(+0.1) ○	961.5	(86) -	93	1973.9	(94) -
松江	15.1	(+0.2) +	1561.5	(87) -	158	1721.2	(101) ○	
	西郷	14.1	(-0.2) ○	1684.0	(94) ○	152	1764.7	(101) ○
	浜田	15.5	(0.0) ○	1349.5	(81) -	137	1681.7	(96) -
鳥取	14.9	(0.0) ○	2281.0	(119) +*	165	1725.5	(104) +	
	米子	15.2	(+0.2) ○	1564.5	(88) -	161	1755.1	(101) ○
	境	15.4	(+0.3) +	1661.0	(88) -	161	1688.7	(98) ○
徳島	16.4	(-0.2) -	1639.0	(113) +	110	1995.6	(95) -	
高松	16.3	(0.0) ○	1020.5	(94) ○	109	1996.9	(97) -	
	多度津	16.1	(-0.1) ○	1032.5	(97) ○	106	2027.9	(96) -
松山	16.3	(-0.2) ○	1369.0	(104) ○	115	1901.7	(94) -	
	宇和島	16.5	(-0.3) -	1925.5	(117) +	131	1726.3	(89) -*
高知	16.8	(-0.2) ○	2985.0	(117) +	134	2066.4	(96) -	
	宿毛	16.6	(-0.3) -	2232.0	(113) +	128	1898.0	(90) -*
	清水	17.9	(-0.3) -	2834.5	(114) +	133	2056.3	(93) -
	室戸岬	16.4	(-0.3) -	3164.5	(136) +*	135	2111.5	(97) -
山口	15.4	(0.0) ○	1692.5	(90) -	121	1769.7	(93) -	
	下関	16.6	(-0.1) ○	1667.0	(99) ○	111	1789.5	(95) -
	萩	15.5	(-0.1) ○	1443.0	(87) ○	134	1609.2	(92) -
福岡	17.0	(0.0) ○	1768.5	(110) +	118	1799.0	(96) -	
	塚	15.3	(-0.4) -	1851.5	(105) ○	129	1647.2	(90) -*

地名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
大分	16.3	(-0.1)	○	2263.5	(138)	+	126	1860.8	(93)	-
	15.1	(-0.3)	-	2422.5	(134)	+	117	1645.8]	()	
(統計月数:11)										
長崎	16.9	(-0.3)	-	2135.5	(115)	+	126	1711.1	(92)	-
厳原	15.6	(-0.2)	○	2279.5	(102)	○	102	1828.6	(98)	○
平戸	15.9	(-0.2)	○	2567.0	(122)	+	117	1674.1	(94)	-
佐世保	16.8	(-0.2)	○	2104.5	(108)	○	125	1802.6	(95)	-
雲仙岳	12.4	(-0.4)	-	3189.5	(110)	+	139	1314.2	(91)	-
福江	16.8	(0.0)	○	2495.0	(107)	+	145	1609.3	(92)	-
佐賀	16.5	(0.0)	○	1999.0	(107)	+	113	1877.1	(95)	-
熊本	16.7	(-0.2)	○	2209.5	(111)	+	123	1860.6	(93)	-*
阿蘇山	9.4	(-0.5)	-	3678.0	(115)	+	142	1370.4	(88)	-*
人吉	15.3	(-0.2)	-	2874.0	(120)	+	143	1586.8]	()	
(統計月数:11)										
牛深	17.6	(-0.4)	-	2390.0	(121)	+	127	1738.7	(89)	-*
宮崎	17.2	(-0.2)	○	3191.5	(127)	+	136	2009.7	(95)	-
延岡	16.4	(-0.2)	○	3174.0	(138)	+	132	2016.9	(95)	-
都城	16.2	(-0.3)	-	3065.5	(124)	+	144	1778.5	(92)	-*
油津	17.9	(-0.3)	-	3383.5	(130)	+	147	1853.1	(95)	-
鹿児島	18.2	(-0.4)	-	2895.0	(128)	+	129	1750.5	(90)	-*
阿久根	17.0	(-0.2)	-	2373.0	(115)	+	124	1740.2	(89)	-*
枕崎	17.7	(-0.4)	-	2703.5	(124)	+	131	1750.6	(91)	-*
屋久島	19.2	(-0.2)	-	5113.5	(114)	+	176	1435.2	(94)	-
種子島	19.2	(-0.4)	-	2502.0	(107)	○	142	1654.3]	()	
(統計月数:11)										
名瀬	21.4	(-0.2)	-	4167.5	(147)	+	178	1244.8	(92)	-*
沖永良部	22.2	(-0.2)	-	3105.5	(169)	+	137	1654.7	(88)	-*
那覇	23.0	(-0.1)	○	2733.0	(134)	+	141	1538.9	(87)	-*
名護	22.5	(-0.1)	-	2753.0	(136)	+	147	1512.2	(86)	-*
久米島	22.9	(0.0)	○	2932.5	(139)	+	147	1538.5	(88)	-*
宮古島	23.7	(+0.1)	○	1913.0	(95)	○	135	1599.0	(91)	-*
石垣島	24.3	(0.0)	○	2070.0	(98)	○	148	1618.7	(88)	-*
西表島	23.8	(+0.1)	○	1945.5	(84)	-	144	1601.5	(92)	-*
与那国島	23.8	(0.0)	○	2104.5	(89)	○	157	1458.9	(93)	-
南大東島	23.3	(0.0)	○	2125.0	(134)	+	125	1821.5	(86)	-*

(注) 1. 平年値は1981~2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981~2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。] 付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 順位更新表 2012年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	延岡	3174.0	138	3413.8 (1966)	1961	2292.1
	沖永良部	3105.5	169	3229.5 (1998)	1969	1836.0

年降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	若松	1759.9	109	1893.4 (1994)	1954	1613.2
	水戸	2202.3	115	2262.6 (1943)	1899	1921.7

年間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	名護	1512.2	86	1538.0 (2010)	1966	1764.0
2	沖永良部	1654.7	88	1632.0 (2011)	1969	1880.5
3	那覇	1538.9	87	1498.2 (1912)	1900	1774.0

(注) 値の横に]がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。

平年値とは1981~2010年の30年間の値を平均したものである。